

間伐により林内に光が差し込み下草の生える環境を整えた事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：福山市

取組のきっかけ・経緯

・森林災害を危惧した森林所有者から、森林管理についての相談を受け、本事業を実施することとなった。

今後の展開

・公益的機能を持続的に発揮するために継続して森林管理を行う必要がある。

取組の内容

- ・事業主体：福山市
- ・実施場所：福山市新市町大字常
- ・業務委託先：広島県東部森林組合
- ・業務量：3.08ha
- ・業務金額：1,130,360円
- ・業務期間：令和2年2月～令和2年3月

<間伐前>



取組後の感想

【良かった点】

・手入れがなされず放置された森林を整備し、下層植生を回復させる環境づくりを行うことができた。

<間伐後>



遊歩道周辺の除伐で景観を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：福山市

取組のきっかけ・経緯

・遊歩道利用者や森林所有者から、遊歩道周辺の里山林を除伐し、景観をよくしたいとの相談があった

今後の展開

・引き続き、遊歩道周辺の里山林の除伐を行い、景観保全に努める。
・遊歩道利用者が利用しやすいよう管理する。

取組の内容

・事業主体：広島県東部森林組合
・実施場所：福山市金江町
・業務量：2.76ha
・補助金額：6,200千円
・実施期間：令和2年1月21日
～令和2年3月27日

取組後の感想

【良かった点】

・除伐後は景観がよくなり、遊歩道から海を見渡せるようになった。
・地元からも「整備されたので歩きやすくなってよかった」との声があった。

【悪かった点】

・景観を遮る木が少し残ってしまった。



共有林の今後の維持管理にむけた仕組みづくりの事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：福山市

取組のきっかけ・経緯

・地域住民が主体となり、共有林の維持管理を行ってきたが、今後も取組を継続するため、地域内に居住する人や次世代を担う子どもたちも含めた、継続的な活動基盤を作りたいとの要望があった。

今後の展開

・地域外の住人や企業等の参加を含めた活動の継続的な実施を行う。
・高齢化が進む地域においても継続的な森林管理を実施し、地域外にも森づくり活動の重要性を啓発する。

取組の内容

- ・事業主体：新市町中組共有山森づくり事業実行委員会
- ・実施場所：福山市新市町
- ・業務量：1.8ha
- ・補助金額：4,000千円
- ・業務期間：令和元年6月26日
～令和2年3月25日



取組後の感想

【良かった点】

- ・森林に対する愛着や森林を守り育てる意識を育て、地域ぐるみで森林を保全する重要性を参加者に根付かせることができた。
- ・次世代も含めた継続的な森林管理を実施する体制が構築できた。

【悪かった点】

- ・団体を取り仕切る後継者の育成までは至らなかった。
- ・植樹を行った場所が適地ではなかったため、生育状況が悪いものがあった。

